



泌尿器科からのメッセージ

次の 100 年をともに築き上げよう

東京慈恵会医科大学泌尿器科は、1922 年に本邦初の独立した大学泌尿器科講座として開講されて以来、約 100 年にわたる日本で最も歴史のある泌尿器科です。この間、国内の主要な大学や基幹病院の責任者を多数輩出しており、日本の近代泌尿器科を牽引してきました。しかし、私たちはこの歴史におごることなく、患者様との信頼に根ざした最新の医療をめざして日々努力しています。

当科は日本にとどまらず世界へ情報を発信できるような「日本で一番世界に近い泌尿器科」を目指しています。アメリカ泌尿器科学会、ヨーロッパ泌尿器科学会をはじめとした多くの海外の学会に若い後期研修医のときから積極的に出席してもらえるように講座を挙げて支援しています。海外留学経験者も多く、また年に 2 回海外から著名な泌尿器科医を招聘し講演会を開催し海外との交流を深めています。また「よく学び、よく遊べ!」が慈恵医大泌尿器科のもうひとつのキャッチ・フレーズです。忙しい毎日においても、メリハリのある生活で充実した研修生活を保障します。

手術件数は全国でトップクラスにあり、さらに症例も豊富で多岐にわたり、興味のある分野もきっと見つかるはずです。

我々と一緒に次の慈恵医大泌尿器科の 100 年を築き上げましょう!

泌尿器科 診療部長 穎川 晋